



発行所 東大阪新聞社 第6930号 577-0802 東大阪市小阪本町1-1-7

東大阪・八尾 柏原の地域紙

内科 心療内科 皮膚科 さんぽうクリニック 院長 楊博嗣

大阪府議会議員 補欠選挙 11月19日投票

晴耕雨読 秋の夕暮れ、帰りに「ちょっと熱帯とおでんで一杯」と居酒屋に

景気拡大するも生活実感なし 大阪府が離日した7日の日経平均株



東大阪地域経済の歴史展

この展示会は念願。古代からの産業 竹中製作所、緩やかな東大阪工場ミュージアムと近代以降の集い

実現の足がかり 東大阪工場ミュージアム

創設80周年記念祝賀パーティー 700人が集う 東大阪商工会議所

読者の声 大阪市交通局がいよいよ大改革を遂げよう

読者の声 大阪市交通局へ、減額400万円はがまんでできない

共栄化学工業株式会社

代表取締役 稲垣 圭悟さん 共栄化学工業株式会社 八尾市山賀町4-63



好きなこと、趣味を テーマに商品開発

稲垣圭悟さん(52)は自由な発想力を持ちました。ガラス張りの洒落た社長室

認知症予防セミナー マナビックス80で 松茂良興理事長

第10回石門心学講演会 日時：11月16日(木) 講演会18時

イベント情報 日時：12月3日(日) 16時開演 本戸銭：2,000円



明日の有名 稲垣圭悟さん(52)は自由な発想力を持ちました。ガラス張りの洒落た社長室

明日の有名 インターネットを駆使し全国から注文

明日の有名 好きなこと、趣味をテーマに商品開発

明日の有名 認知症予防セミナー

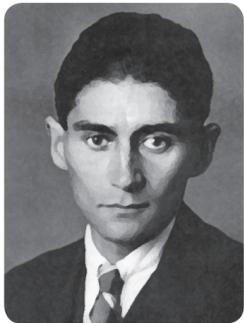
明日の有名 イベント情報

連載 小説

河内のカフカ

嶋津 亮太 (八尾市在住の小説家)

ゆっくりと、なめらかに沈んでいく夕日。西の空は黄色に染まる。燦爛と降り注ぐ光の雨が木々を照らし、山々を照らし、道路を照らし、住宅を照らし、雫を立つビルの水を照らす。世界を平等に照らしているのだ。



「こんなにも眺めの良い場所だったんです。隣には真奈がいた。真奈も翔平と同じように目に広がる風景に見とれていた。」

河内のカフカ

次号(12月15日付)に続く

「どうして7人じゃないのかしら。七福神とか7人は好かれる数でしょ。7が3つ揃えばラッキーでしょ。」

第11回 東大阪ベースボールフェスティバル 東大阪市中学校準硬式野球部東西オールスター戦 東大阪市営花園中央球場で

東大阪の古代史研究者 十帖田の古代史塾 百人一首殺人事件 ⑫

少年野球教室後、記念撮影 野球は女の子にも人気

大阪スクリーン製作所 遮熱性優 電気代減 八尾で初 環境にやさしい水性塗料 アドグリーンコート

八尾市内の地域資源を活用した事業所の商品八尾ブランドとして八尾市内外へPRすることを目的として、八尾コレクション2017を開催する。

八尾商工会議所青年部臨時総会 会長は美馬攻之介さん 次期役員が選出される

児童虐待防止講座 11月22日開催

記憶は一代、記録は末代 自分史・社史出版のお手伝い 永続する会社には社史がある



熱心に聞き入る歴史愛好家たち

ゆげでら 由義寺と仏の都

～塔跡の発見からみえてくる古代国家～

講演は多くの関連史料や年表をたどりながら、孝謙(称徳)天皇の父・聖武天皇が築いた「仏の都」建設にまつわる政治と仏教の地を求めた道をつくり橋を架けるなどの社会基盤が仏教の力でできている姿を見てきた。孝謙天皇(称徳)は父・聖武天皇が築いた「仏の都」建設の役割と存在が明らかになる。このように聖武天皇と行基、光明皇后と玄昉、称徳天皇と道鏡という政権と僧の関係が明らかになる。当時の僧は政治の中

「これからは八尾だよ！」

菱田 哲朗氏

古田明泰係長(八尾市)が、山本出展所でも生活相談を受けているが、より多くの人の相談を受けようという声がかかっている。山本出展所がスタッフから上が

日 程	名 称
11月14日(火)	議会運営委員会
11月17日(金)	議会運営委員会
11月30日(木)	本会議(第1日)
12月1日(金)	本会議(予備日)
12月4日(月)	本会議(予備日)
12月7日(木)	建設産業常任委員会 建設産業分科会 予算決算常任委員会
12月8日(金)	文教常任委員会 文教分科会 予算決算常任委員会
12月11日(月)	保健福祉常任委員会 保健福祉分科会 予算決算常任委員会
12月12日(火)	総務常任委員会 総務分科会 予算決算常任委員会
12月15日(金)	予算決算常任委員会 全体会
12月20日(火)	議会運営委員会
12月21日(水)	本会議(第2日)

第39回 八尾東部産業クラブ 定例総会

八尾東部産業クラブ(中西啓業会長)の第39回総会。および懇親会が10月6日に八尾ランドホテル(八尾市八尾北5)で開かれた。

和やかな雰囲気

総会後には、まめくみや代表の崎山まめくみやを招き、講演会「たった1日で、その違いがわかる!」がはなはなと行われ、元気なカラダの作り方を教える「目から鱗が落ちる話」ばかりで、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。講演会後、会場を隣室に移し懇親会が開かれた。谷畑孝孝議員、田中誠太八尾市長はじめ来賓を迎え、和やかな雰囲気のなか、情報交換を行った。

今年も秋がないような感じで相当に体調不良を起こしている方が多く、私もその1人に入ります。

特徴としては、眼のかゆみやくしゃみがでるといふアレルギー症状です。さて、今回は、大阪環状線の市色電車が全面廃止されたので、それ以前の市色電車の写真とします。なつかしの大阪環状線(城東線時代)のもの。大阪環状線は、昭和36年4月に全線が一周できるよう開通し、それまでは、城東線・西成線と呼ばれていました。この電車の、戦前に製造されたもので電車の色は、こげ茶色でありました。当時、国鉄では戦前の鉄道省からの決まりで黒色・こげ茶色・緑色などでありました。これは、戦争になると分かりづらいうえと決めていたと考えられます。現在のようにカラフルな色になったのは、昭和30年以降の高度成長期からです。

第39回総会および懇親会

八尾東部産業クラブ

なつかしい写真

「写真アルバム」八尾・柏原の昭和が11月25日に樹林舎から発行される。A4判280頁、製本、定価9,990円(税込)。八尾市内および柏原市内の各書店で予約を受け付けている。締め切りは11月16日。問い合わせは樹林舎(020-58-86140)へ。

平成29年度 山本図書館 読書週間講演会

八尾市東山町道跡において「幻の都」とされた由義寺の塔の基礎は歴史的発見として注目を集めている。称徳天皇と行基の建立した由義寺跡は、幻の都「西京・由義寺」の実態を解明する上で重要な発見である。このような八尾の古代史をひも解く講演が行われた。八尾市立山本図書館(八尾市山本町1-8-11)の読書週間の記念行事として、11月4日午後、山本コミュニティセンター会議室で開かれた。講師は京都府立大学文学部歴史学科教授・菱田哲朗氏。菱田先生ファンが多く、受講申込が受付後すぐに70人の定員をはるかに超えたという。熱心な郷土歴史愛好家が聞き入っていた。

感化されて、教養の枢において、寺院の建築、八尾市(山本町)にも仏教を使って世の中を良くしたかった。橋など建築工事の技術者であり実行部隊であった。国をこつた誇りを持って、私たちが弘道館(743年)事業に仏教と政治が一体の中心に行基が関わった大般若経(744年)を司った。この関係については遺跡の発掘をめぐって、歴史を知ることには非常に重要で、近隣の調査は始まったばかり。関係各々が合同で対応する必要がある。これは、これからの八尾市に在る。山本出展所が試み、山本出展所でも生活相談を受けているが、より多くの人の相談を受けようという声がかかっている。山本出展所がスタッフから上が

健康・介護・生活・相続に関する 出前相談会開く

山本集会所で

写真アルバム

八尾・柏原の昭和

八尾柏原版

八尾市玉祖神社

10月9日、八尾市にある玉祖神社(大字神立4-3)にて、高安薪能が催された。玉祖神社は生駒山系高安山の西麓山麓に鎮座する。決して利便性に恵まれた場所ではない。それにも関わらず、境内には300人を超える観客が集まった。それだけに地元発祥の高安能への関心の高さが伺えた。主催は高安能未来継承事業推進協議会。夕刻5時に始まり、西の空へ沈む夕日が境内を染め、高安山からその光景を一望できるのは玉祖神社の醍醐味である。日没前に、来賓の面々によって掲げられた新の火。辺りが暗闇に包まれるなか、新のかがり火はあかあかと別世界を演出する。薪能ならではの幻想的な空間。観客は伝統芸能として

能楽への啓蒙活動

玉祖神社の舞殿。その厳粛な雰囲気の中で舞う能楽師。薪の燃える音、広がる煙の匂い、移りゆく空色。これに現れる木の香り、移りゆく空色。これぞ高安薪能、といった五感全てが刺激される価値ある舞台であった。高安能未来継承事業推進協議会では高安の地ゆかりの作品の魅力を見直し、未来へと継承される活動を行っている。今回の「弱法師」に代表されるように、高安の地をゆかりとする能狂言がいくつか存在する。先人が築いた文化遺産を敬い、文学・歴史講座、体験講座、ワークショップ、玉祖神社での薪能など、市民を対象とした文化活動・能楽への啓蒙活動を推進している。(鳴津亮太)

健康・介護・生活・相続に関する 出前相談会開く

山本集会所で

和やかな雰囲気

総会後には、まめくみや代表の崎山まめくみやを招き、講演会「たった1日で、その違いがわかる!」がはなはなと行われ、元気なカラダの作り方を教える「目から鱗が落ちる話」ばかりで、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていた。講演会後、会場を隣室に移し懇親会が開かれた。谷畑孝孝議員、田中誠太八尾市長はじめ来賓を迎え、和やかな雰囲気のなか、情報交換を行った。

連載小説 ウクライナを歩く

小野元裕

ロシア革命から100年

11月7日。ロシア革命からちょうど100年。ソ連がまだ続いていたなら、大々的に祝賀イベントが開かれていたであろう。しかし、現実には70年で霧の中に消えた。ソ連時代、ウクライナは辛酸を嘗みさせられた。特にスターリンには徹底的に苦しめられた。1932年、1933年の大飢饉では、餓死者が300万人とも500万人ともいわれる。ウクライナで収穫された農作物をスターリンは奪い尽くし、ウクライナ人を根絶やしにしようとした。また、1930年代半ばには、ウクライナの歴史を弾き語るコサザリをハリキフに集め演奏会を開くことになり、その後谷間へ連行し全員銃殺した数百人を超える。そういった数々の悪事が資料としてキエフに残っている。

第5回世界に羽ばたけ「夢」スピーチコンテスト

支援金額: 120万円

【本選開催日時】平成29年10月15日(日) 13時30分~17時

本選開催場所: 大阪府東大阪エニオンホール春天下 住所: 大阪府東大阪市中野町4-1-10

主催: 一般財団法人青少年夢応援隊 協賛: 株式会社サンクレスト 後援: 大阪府、東大阪市 公式サイト: <http://yumeoutai.com>

【出場者一次選定】 作文を基にスピーチコンテスト本選出場者10名を選出いたします。①公式サイトより「出場申込書」をダウンロードし、必要事項を記入。②「夢」というテーマで作文を書いていただきます。また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。③応募用紙(400字詰め)にて3枚まで ※手書き、パソコン等問わない。④応募方法: 「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。⑤「出場申込書」と「原稿」はHPよりダウンロードしてください。⑥メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。⑦送付先: 郵送の場合 宛先: 大阪府東大阪市南上小阪12-42 一般財団法人青少年夢応援隊 スピーチコンテスト企画係宛 メールの場合 info@yumeoutai.com 問い合わせ06-6725-0511 ⑧原稿締切: 平成29年8月31日(木) 必着

大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会

今年の協奏曲(コンチェルト)と交響曲(シンフォニー)は2人の作曲家が苦しみ続けて完成させた重厚な名曲

■出演 指揮: 垣内悠希 独奏: 及川浩治(ピアノ) 管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団

■プログラム グリンカ/歌劇「ルスランとリョドミラ」序曲 ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 八尾調 作品18 プラームス/交響曲第1番 八尾調 作品68 ※プログラムは変更する場合がございます。予めご了承ください。

■入場料 全席指定・税込 SS席: 6,000円、S席: 4,500円、A席: 3,600円、B席: 2,700円、C席: 2,000円、D席: 1,000円、F席: 500円

12月2日(土) 15:00開演 プリズムホール(八尾市文化会館)大ホール

PRISM HALL 八尾市文化会館

チケットのお問い合わせ <http://prismhall.jp/>

写真アルバム

八尾・柏原の昭和

予約11月16日まで

「写真アルバム」八尾・柏原の昭和が11月25日に樹林舎から発行される。A4判280頁、製本、定価9,990円(税込)。八尾市内および柏原市内の各書店で予約を受け付けている。締め切りは11月16日。問い合わせは樹林舎(020-58-86140)へ。